

## 2.5 コンクリート様の塊の白色物質、赤色物質等分析結果

### コンクリート様塊中の赤色物

コンクリート様塊中に大小の赤色物（鉄系物質）の点在が認められる。特に西側の塊（ ）の下部に大きな赤色物を発見。



塊中の赤色物



塊中の赤色物大

### 管中の赤色物

パイプのようなもの多く見つかり、その中の一つにパイプ中に赤色物が少し存在するも

のがあった。



表 2.5 赤色物の分析結果

	総ヒ素(現地分析) (mg/kg)	DPAA (mg-As/wet-kg)	PAA (mg-As/wet-kg)
塊中の赤色物大	10,000	27	130
塊中の赤色物小	2,300		
パイプ カット1	1,200		
パイプ カット2	1,200		
パイプ カット3	310		

### - 3下側塊中のガラス瓶の白色粉

塊除去中に白色粉が入ったガラス瓶が見つかり、その白色粉中からもヒ素が検出確認された。

表 2.6 ピン中の白色粉の分析結果

	総ヒ素(現地分析) (mg/kg)	DPAA (mg-As/wet-kg)	PAA (mg-As/wet-kg)
ピン中の白色粉	8,000	3,600	45



塊中のガラス瓶



### 化学剤分析結果（ヒ素換算値）

表 2.7 化学剤分析結果（ヒ素換算値）

試料名		- 3下側塊 中のガラス瓶 の白色粉	塊中の 赤色物大	定量下限
含有量	マスタードガス	mg/wet-kg	ND	0.5
	マスタードジスルフィド	"	ND	0.5
	ルイサイト1、クロロビニル垂アルソン酸及びルイサイトオキシド	mg-As/wet-kg	ND	1 <sup>2</sup>
	ルイサイト2	"	ND	1
	ジフェニルクロロアルシン	"	ND	1
	ジフェニルシアノアルシン	"	ND	1
	ビス(ジフェニルアルシン)オキシド	"	ND	2
	ジフェニルアルシン酸	"	3600	27
	フェニルアルソン酸	"	45	130
	トリフェニルアルシン	"	ND	1.8
	ジフェニルアルシン化合物 <sup>1</sup>	"	3000	31
	フェニルアルソン化合物 <sup>1</sup>	"	49	89

<sup>1</sup> チオール誘導体化合物として

<sup>2</sup> 定量下限はルイサイト1とした場合の値

(備考)

各試料をn=2で試験した結果、白色粉体ではDPAA、PAAの相対標準偏差は9.2%及び4.2%であったが、赤色物では、20%、27%と試料間でのバラツキが大きかった。